

2月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日(定例会号)、1月1日(新年号)に発行します。
今回は6月定例会号が発行予定です。



2月定例会

一般会計予算2022億円などを可決

市長の施政方針などに各会派から代表質問



令和9年3月完成予定の市川南ポンプ場

市議会は、令和8年2月定例会を2月12日から3月12日まで開催しました。

2月定例会では、初日に田中甲市長が施政方針演説を、次いで高木秀人教育長が教育行政運営方針演説を行いました。続いて令和8年度当初予算案を含む市長提出議案等41件を一括議題とし、これに施政方針、教育行政運営方針を含めて、9会派が代表質問を行いました。また、議員からは、市川市議会会議規則の一部改正について、「市川市議会委員会条例の一部改正について」、「市川市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について」などの発議案8件が提出されました。その他、23人の議員による一般質問を行いました。

本会議での採決の結果、市長提出議案33件をいずれも原案通り可決・同意した他、諮問4件を異議ない旨答申しました。また、市長からは、「売買契約等調整調停事件の和解等について」等の追加議案4件も提出され、提案に対する質疑の後、市議会はいずれも原案通り可決しました。議員提出議案については、提出された8件のうち、条例案2件、規則案1件、決議案1件を可決、意見書案2件、決議案2件を否決しました。

また、専決処分承認を求める報告1件を承認した他、3件の報告がなされました。(代表質問は275面、一般質問は68面、審議結果一覧は910面に掲載)

1月臨時会を開催

市議会は、令和8年1月臨時会を1月19日の1日間、開催しました。1月臨時会では、令和7年度市川市一般会計補正予算(第5号)が提出され、これに対し7会派が質疑を行いました。また、議員からは本補正予算に対する修正動議が提出されました。本会議での採決の結果、議案は原案通り可決され、修正案は否決されました。(審議結果一覧は9面に掲載)

◆施政方針(要旨)

市長就任以来、「市民目線」「現場主義」を一貫してきた。市民の皆さんとの「対話」の中で受け取った「市川市をもっと良くしたい」という熱い想いを一つひとつカタチにし、皆さんとともに「より良い市川」をつくり上げることが、行政の役割と果たすべき責任であると考えている。

本市の総人口は50万人に到達しようとしている。これは、多くの方々に「住みたい」「住み続けたい」と認められ、選ばれてきた証であり、このまちに関わってきた全ての方々が、まちの安全・安心、子育て環境、教育、高齢者や障がい者施策など、手を取り合って進めてきたまちづくりの成果である。これを飛躍の契機と捉え、国や県と連携しながら、今後も持続可能なまちづくりを進めていく。

日ごろから市川市を愛してくださっている市民の皆さんへの感謝を忘れることなく、あるべき共生社会のあり方を模索しつつ、誰一人取り残さないあたたかなまち、市川市の実現を着実に進めていきたい。

【主な施策】

- (1) 誰一人取り残さないまち 「妙典親子つどいの広場」の開所日の拡充、「エアコンサポート75」の開始、日本のルールやマナーを理解するためのチラシ配布など
- (2) 持続可能で安心・快適なまち 創エネ・省エネの推進に要する費用の補助、ペットボットの分別収集の開始、防災DXの推進など
- (3) 魅力あふれる元気なまち 「市川駅前ミュージアム」での新たなイベントの開催、誰もがスポーツに親しめる環境の整備、ICHICOによる行政ポイントの拡充など

◆教育行政運営方針(要旨)

施策の推進にあたっては、学校と一体となって取り組むとともに、家庭や地域など様々な関係者との連携や協働を進める。また、総合教育会議を通じて、市長と一層の協議・調整を図りながら、子どもたちの育ちや学びに責任を持ち、市民や若者による社会教育活動や文化財の保存・活用などを進める。

【教育行政運営の基本方針】

- ・「令和8年度教育振興重点施策」に基づく具体的な取り組みの推進
- ・「第4期市川市教育振興基本計画」の点検・評価結果等を踏まえた取り組みべき教育行政課題への対応

【重要な施策】

- (1) 「中学校卒業まで」学びの連続性の全校展開 「(仮称)言語探究科」新設に向けた準備、小中一貫教育推進のための学校運営協議会の体制整備など
- (2) 誰一人取り残さない学びの保障 外国籍児童生徒等への日本語指導の充実、「サポートルームふれんど市川」の分室の設置など
- (3) 世界につながる市川版英語教育 独自のCAN-DOリストの策定など
- (4) 乳幼児期からはじまる読書環境の充実 図書館の持つ専門性を活かした学校図書館の支援など
- (5) 心も体も健康的な子どもを育む環境整備 放課後保育クラブと放課後子ども教室の連携の検討など
- (6) 人生を豊かにする生涯にわたる学びの基盤づくり 公民館への学習スペースの設置、国指定史跡の整備など

◆当初予算

当初予算は、一般会計が対前年度比7.2%増の2022億円、特別会計は3会計を合わせて839億3300万円で同3.9%の増、公営企業会計の下水道事業会計は257億7300万円で同12.8%の増、総額では3119億600万円、同6.7%の増となっています。